

平成21年度「専修学校を活用した就業能力向上支援事業」成果報告書

コース名	若者対象コース		
事業名	企業実習重視型即戦力観光人材育成講座及び就職定着プログラムの実施		
法人名	学校法人 フジ学園		
学校名	専門学校 ITカレッジ沖縄		
代表者	理事長 玉城 政光	担当者 連絡先	事務局長 屋宜 宣秀 TEL 098-833-6715
1. 事業の目的			
<p>沖縄県のホテル業界・ブライダル業界は、急激に膨らむ市場や多様な旅行形態に対応し続けることが求められており、旅行形態の多様化が進む中でその担い手不足や質の問題、また、急速に膨らむ市場、金融危機などの経営基盤を揺るがすような環境下において即戦力人材を強く求められている。</p> <p>本事業では、即戦力観光人材の育成について、働く意欲（就職意欲）のあるフリーターや早期離職者を対象に、比較的短期間（約3ヶ月間）で即戦力を育成できる企業実習重視型で業界に必要な知識や技術を習得し、ヒューマンスキル（対人関係力やコミュニケーション能力）や観光人材に必要なホスピタリティを養成できるプログラムを産学協同で開発し実施した。また、ミスマッチをなくし、定着させ就職を確実なものとするために包括的な支援プログラムを構築し、沖縄県の若年失業率の改善と観光人材育成に取り組んだ。</p> <p>講座開講に当たり、受講者満足度60%、受講者の就職率60%を目標に設定し、座学及び企業実習の受講生サポートをメンターとしての講座補助者とキャリア・コンサルタントが連携して学習及び就職支援を実施した。</p>			
2. 事業の実施に関する項目			
①カリキュラムの概要（目的・科目数・内容・期間）			
<p>即戦力観光人材の育成にポイントを絞って重点的に教育カリキュラムを構築した。また、より実践的な内容とするため、教育関係者をはじめ、ホテル運営コンサルタント、ホテル・ブライダル・プロデューサー、キャリア・コンサルタントなどの専門家や企業実習先の人事・教育担当者を交え、「キャリア・ガイダンス」の手法を用いて、企業実習前の座学は、ホテル・ブライダルの知識の学習よりも『自己理解と職業理解』の促進しミスマッチをなくし、企業実習で徹底的にホテル・ブライダルの知識及び技術の習得を目指し、企業実習後の座学においては、就職支援及び定着・継続支援を実施できるように、講座の編成及びサポート体制を構築した。</p>			

- 開設講座数 : 1講座「即戦力観光人材育成講座」
- 総授業時間数 : 440時間
- 開設期間 : 平成21年11月16日～平成22年2月15日
(内訳)

<専門分野>

企業実習 320時間

<教養分野>

ホテル概論 9時間

ブライダル概論 6時間

ホテル実務英語 6時間

パソコンスキル 6時間

プレゼンテーションスキル 15時間

コミュニケーションスキル 12時間

ヒューマンスキル 24時間

<支援講座>

就職支援 33時間

オリエンテーション他 9時間

- 応募者数 : 21名 (問い合わせ数 : 43名)
- 受講者数 : 16名
- 修了者数 : 9名
- 受講者満足度 : 4.1 (5-44%、4-22%、3-33%、2・1-0%)
- 就職状況 : 就職決定者 6名 (67%) 正規雇用
就職未決定者 3名

上記の他、キャリア・コンサルタントによるカウンセリングを定期的(2週間毎)に実施した。また、講座補助者をメンターとして、受講生のサポート及びフォローを実施した。

②受講者の募集方法(手法・期間・効果)

受講生募集に当たっては、主に下記の方法を用いて行った。

1. 新聞広告 琉球新報 平成21年10月30日に掲載
沖縄タイムス 平成21年11月3日に掲載
2. 求人誌への募集広告 Rookie 42号(10月31日発行)
Rookie 43号(11月7日発行)
3. 募集チラシの設置・配布 平成21年9月29日～11月9日 2000枚
設置場所: ハローワーク、若者サポートステーション、コンビニ、
合同企業説明会会場など

応募状況は、定員20名のところ、43名の問い合わせがあり、21名の応募があったが、厚生労働省「緊急人材育成・就職支援基金訓練」の講座が多く、また、訓練・生活支援給付金も給付されるので、5名の事前自体が出て、16名の受講となった。

③受講者の状況

受講者16名の内訳は下記の通りである。

男性 6名 女性 10名

10代 1名 20代 9名 30代 6名

いずれも受講開始時点では、定職に就いておらず、無職及びアルバイトで生活をしているとのことであった。

また、前職も農業従事者、自衛隊員、コールセンター、医療事務、サービス業など様々であった。

④受講者の意識調査等

受講者の満足度は下記の通りであり、概ね満足という結果になった。

大変満足 4名(44%) 満足 2名(22%) 普通 3名(33%)

不満 0名(0%) 大変不満 0名(0%)

⑤受講後の状況(修了者数・就職率)

受講者16名中、9名が規定の出席時間数に達したため、修了証を交付した。

修了者のすべてが就職希望者であり、就職活動を行い、6名が就職し、現在3名が活動中であり、支援中です。(22年3月現在)

(内訳)

●就職決定者 (就職率 67%)

企業実習先ホテルに就職 2名

企業実習先ブライダル企業に就職 1名

沖縄県内ホテルに就職 3名

●就職未決定者

沖縄県内ホテルに就職希望 1名

沖縄県内ブライダル企業に就職希望 1名

東京のホテルに就職希望 1名

3. 事業の評価に関する項目

①当初目的の達成状況

受講者満足度は、大変満足と満足で66%であり、就職者数も6名(67%)となり、ともに当初設定値を達成したため、講座の目的は達成した。

②事業の成果及び改善点

主な成果は下記のとおり

1. 産学協同による3ヶ月間の企業実習型の観光人材育成カリキュラムを完成した。
2. 「キャリア・ガイダンス」の手法を用いた教育・就職支援プログラムを完成した。
3. オリジナル教材を作成した。

4. フリーター及び早期離職者への就職支援ができた。

なお、全ての講座のオリジナル教材を作成できなかった。
また、受講生の募集についても、事前に他の講座（基金訓練）とのスケジュールを確認する。

③次年度以降における課題・展開

企業実習型即戦力観光人材育成の教育プログラム及び支援プログラムの開発については、一応の完成を見たため、次年度は沖縄県内の観光関連企業との提携により、早期離職者を対象とした講座を開設するとともに、昨年度開発したVOD教材（システム）を活用した高度な即戦力人材の育成プログラムの構築と専門学校における正規授業への活用と沖縄観光コンベンションビューローでの観光人材育成事業への協力連携をはかる。

④成果の普及

開発したプログラムを掲載した事業報告書を観光系の過程を持つ専門学校・高校及び観光系企業に配布するとともに、3月6日に43名を集めた事業報告会を開催した。